

## 平成22年度 校務分掌取組目標(その1)

分掌名	目 標	実 践 目 標	目標達成のための具体的方法
教 務	教育課程の見直しと読書習慣の定着による生徒の基礎学力向上。 また、積極的な情報公開を行う。	教育課程の見直し	新学習指導要領に合わせて、選択科目やコース選択など教育課程の見直しを行う。
		読書習慣の定着	「朝の読書」などをとおして読書習慣を身につけさせるため、本の紹介や図書室の利用促進を図る。
		情報公開	ホームページを充実させることにより積極的に情報公開を行う。
研究企画	授業研究と学校会議の取り組みを通して、生徒が学校生活により積極的に取り組めるような方途を検討し、実践することで、学校の活性化に寄与する	「生徒に参加させる授業」を実現させる。	アイデアを出し合うことで、各クラスの実情にあった取り組みを各チームで研究・開発・実施できるような体制を作る。
		よりよい学校づくりに貢献できるよう、新しい形式での学校会議を的確に運営する。	LHRを活性化し、生徒集団を形成する。各立場からの議題提出を支援し、活性化を図る。
進路指導	進路意識の高揚 希望進路の実現	進路ガイダンス ・キャリアガイダンスの充実	生徒の興味関心を高めるように、業者との連絡を密に計画し、進路希望の早期決定に役立たせる。
		進路LHRの充実	各学年の実情にあわせて、意識付けができるような進路情報の提供をする。
		面接指導を十分に行う	面接カードを利用し、複数の先生に面接指導してもらえるようにする。
生徒指導	昨年度まで実践してきた『生徒が安全で・安心して学べる学校づくり』『地域の人々から信頼される学校づくり』を大前提にすることに変わりはない。  女子教育の推進により、本校が考える女性らしさの追求を目指すとともに、特に出会い系などにより、女子生徒が被害者にならないように努める。  他人を、肉体的にも精神的にも、傷つけることは決して許されない。道徳教育の推進により『人としての心を育む』ことに邁進する。	基本的な生活習慣(4本柱)の継続・堅持	毎朝の立哨指導、定期的な服装検査 遅刻常習者へのボランティア活動 校内の美化意識の高揚
		女子教育の推進	制服の着こなし、立ち振る舞い、言葉遣い等の指導 日本文化を学ぶ(茶道教室など) 外部講師を招いての求められる女性像についての講演会を開催 先進校の実態や、取り組みについて視察を行う
		従来型いじめ及びネットいじめの防止	定期的に携帯安全教室を開催し、携帯の安全な使い方や、情報モラルの向上に努める 学期ごとにいじめ・盗難についての被害状況調査等のアンケートの実施 道徳についてのLHRの内容充実に向けてのサポートを行う
人権・同和教育	生徒・教職員・保護者の人権についての知的理解を深め、人権感覚を高める。	生徒の人権への知的理解と人権感覚の高揚	人権・同和教育ホームルームの充実 生徒向け人権だよりの発行 教科指導における人権教育の充実
		教職員の人権への知的理解と人権感覚の高揚	研究会・研修会への参加と報告 現地研修・現職教育の実施 教職員向け人権だよりの発行
		保護者の人権への知的理解と人権感覚の高揚	人権だよりによる人権啓発 PTA総会での人権講話 研究会・研修会への参加
特別活動	部活動や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、「仲間と協力して主体的により良い生活や人間関係を築こうとする気持ちと力」及び「集団への所属感や公共の精神」を育てる。	より多くの生徒が部活動や生徒会活動に参加し、充実した学校生活を過ごせるようにする。	昨年度に引き続き、1年生の全員入部を目指し、1年団の先生を中心に勧誘を依頼する。また、部顧問と担任が連携して生徒の指導にあたり、退部する生徒を減らす。具体的には部の顧問から各担任にそれぞれの生徒の活動状況を知らせる報告書を依頼することを考えている。
		学校会議LHR、及び生徒理事会で活発な議論がなされるような状況を作り出す。	検討を終えリニューアルした学校会議を生かして、生徒が学校におけるより良い生活づくりに参画できるよう、生徒会を中心に意識を高めていく。本年度は生徒会の広報活動に重点をおいて強化し、一般生徒の意識を高めていく。
教育相談	個別支援の充実	S Cの活用	・個別面談・ケース会等での助言 (実態に合うサポートの検討・実行) ・集団面接：1年生対象 (相談室・S Cの存在の意識付け、 早期発見、早期対応)
		生徒理解を深める	・ケース会の充実 ・個人面接：2年生対象 (新たな情報の取得)
		連携を図る	・相談部会の充実(情報交換) ・学年団会へ出席(最新情報の共有) ・生徒指導、進路指導との連携

## 平成 22 年度 校務分掌取組目標(その 2)

分掌名	目 標	実 践 目 標	目標達成のための具体的方法
保 健	生徒や職員の健康に配慮し、元気のある学校づくりを目指す	自ら(巣立つ世代)の身体に、関心と責任を持たせる	食生活を省みて、自らの歯の健康について考える
		職員の体力・健康維持に努める	職員レクや交流の場を設ける
総 務	快適な学習環境を作れるよう、生徒一人ひとりの意識を高める。 学校に対する愛着心(愛校心)を育てる。	公共物を大切にすることを高める。	ものを壊さないようにこころがけ、壊れたものはできるだけ自分たちで修理して使用する。
		清掃用具の整備	清掃用具を粗末に扱わないようにし、壊れたものはすみやかに修理または交換する
		保護者とのコミュニケーションを密にする。	P T A 総会における出席者数が年々減少傾向にあるので、総会に付加価値をつけるよう工夫し、活性化を図る。

## 平成 22 年度 各学科取組目標

学科名	目 標	実 践 目 標	目標達成のための具体的方法
商 業	専門高校としての特色を出し、社会人、大学生として恥ずかしくない人材を育てる	ビジネスマナーの向上	・ 服装、挨拶、正しい言葉遣い等の指導を科の職員が率先して行う。 ・ 社会人講師招聘事業を積極的に活用し、社会人としての一般常識を身につけさせる。
		検定合格率の向上と高度資格の取得	・ 計画的な一斉課外や遅れ気味生徒の特別指導を適宜実施する。 ・ 専門学校を積極的に活用し、日商簿記 2 級等の高度資格を取得させる。その際、教員も講習に参加し、教授方法を身につける。
		進学率の向上と進学先や就職先の充実	・ 進路意識を高めるために、1 年生から計画的なガイダンスを行う。 ・ 商業科全職員が、面接指導や小論文指導及び進路相談に積極的に関わっていく。
電 子 機 械	基礎・基本を身に付けさせ、検定・資格取得や技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒の育成	基礎基本の充実	・ 学校実践目標の徹底 ・ 実習および課題研究の充実
		検定・資格取得の向上	・ 資格取得のための課外の実施 ・ 技能検定のための技術指導の徹底
		ものづくりの技術・技能の向上	・ 1 年から 3 年までの実習で 1 つの完成品(製品)を作る。 ・ 各種大会で入賞を目指す
情 報 科 学	高校生として社会に対応できる人間教育を行う	生活習慣の基本を身につける	道徳教育の推進として(あいさつ、時間厳守、服装、清掃)を特に強化する。
		資格・検定等の意欲の向上	資格、検定の合格率を向上させる
		就職・進学への幅を広げる	・ 大学進学率の向上 ・ 求人が少しでも多く来るように、早期に企業訪問を行う

## 平成 22 年度 各学年団取組目標

学年団	目 標	実 践 目 標	目標達成のための具体的方法
3 年 団	生徒の進路の実現	礼儀・言葉遣いの徹底	S H R 時での挨拶・お辞儀(礼)の指導、ならびに授業の際の挨拶指導を行う。
		面接指導の徹底	コミュニケーション能力の向上を図る。日常的に教職員との接し方の指導を行う。
		進路決定後の生活指導の徹底	進路決定者に対して、残りの高校生活の在り方を指導していき、自尊心の育成を図る。自信を持って卒業を迎えられるよう指導していく。
2 年 団	( 1 ) 人間教育	挨拶、時間厳守、服装、清掃	学校生活全般において指導
		いじめを許さない	定期的に H R 教室を巡回( 3 限後)
	( 2 ) 進路意識の高揚	資格検定の取得	科と協力して個人面談や課外の実施
		L H R の有効活用	進路統一 L H R や独自の H R 実施
		各種模試の積極的受験	国立大、看護・医療系希望者は受験
オープンキャンパスへの参加	情報の早期伝達、参加を促す		
1 年 団	高校生としての必要な人間教育	挨拶、時間厳守、服装、清掃	・ 学校生活全般において指導 ・ 保護者と密に連絡をとる
		円滑なコミュニケーション	各クラスの担任による指導(面接等を通して)
		授業規律の確立	授業態度・授業準備・提出物等の指導